

会 長 指 針

『豊かな心』

会長（理事） 山 岸 久 一
（医 学）

この度、伝統と格式のある京都東ロータリークラブの第64代会長を拝命し、身に余る光栄と同時に責務の重さに身の引き締まる思いであります。

2019-20年度国際ロータリーのテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」であり地区のスローガンは、「伝統と革新」世界はひとつ、であります。これを受けて、本年度（2019-20年度）会長テーマとして「豊かな心」を提唱させていただきました。いつでも、豊かな心をもって相手の立場に立ち思いやりの心を忘れずに「つながり」を大切にしていきたいと存じます。繰り返しですが、国際ロータリーのテーマが「ロータリーは世界をつなぐ」でありますので、その実践にあたり毎日の日常において、心という財産を大切にしてお互いとのつながりを求めていきたいと存じます。

まさに先輩の皆様が永年にわたり築き上げて来られた当クラブの素晴らしい歴史は、「豊かな心で世界をつないで来られた」結実そのものであります。その歴史と伝統を汚さないように変えてはいけないものは残し、変えるべきものに対しては革新を求める方向性を追求する姿勢で会員の皆様のお力をお借りして、今年度指針を全うしたいと存じますので、何卒よろしくごお願い申し上げます。

奉仕の精神はロータリーの心そのものであり、当クラブが歴史的に続けて参りました奉仕活動の心は、継続していきたいと思っております。「伝統と革新」の立場から社会奉仕、国際奉仕の心を更に別の方向に広げていきたいと思っております。具体的には、前年度伊東会長から計画の議論が開始されましたミャンマーの大災害（サイクロン・ナルギス）の反省から、天候の予報を知る「百葉箱」（気象観測機器）の設置を今年度を実現する事業を新たに開始し、一層充実した奉仕活動に皆様のご協力を宜しくごお願い致します。

私自身の職業奉仕として、今年度は難病の治療、殊に認知症の治療に挑戦したく思っておりますが、ロータリアン一人ずつ、それぞれの職業を持って、それぞれの立場で活躍されていますので、職業分類別にグループで各職業を通して、如何なる奉仕ができるかをフォーラムで検討し、社会に奉仕していきたいと思っております。

この一年間京都東ロータリーのために、力を尽くす所存でありますので、会員の皆様のご指導ご支援を賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。